



秋田大学教育文化学部附属特別支援学校

010-0904 秋田県秋田市保戸野原の町7-75 電話 018-862-8583 E-mail: fuyo@sh.akita-u.ac.jp

◇教育目標 ～『能力・個性の伸長と社会生活への参加』

児童生徒のもっている可能性を追求し、一人一人の能力・特性等に応じた知識・技能・態度を身に付けるとともに、可能な限り積極的に社会生活に参加できる人間を育成する。

◇目指す児童生徒像

- ◎ じょうぶな子ども（健康に気を付け、生活力あふれるたくましい児童生徒）
- ◎ 明るい子ども（明るくすなおな心を持ち、なかよく助け合う児童生徒）
- ◎ がんばる子ども（進んで行うことの喜びを知り、最後までがんばりぬく児童生徒）



本校は秋田市の中心部に位置する知的障害特別支援学校です。小学部から高等部まで63名の児童生徒が学んでいます。附属幼稚園・小学校・中学校と同一敷地内にあり、日常的に交流ができます。また、秋田竿燈まつりに参加し、今年で33年目。先輩から後輩へと伝統の技を伝承し、竿燈を通した地域との交流に取り組んでいます。

特色ある取組



私のやってみたいこと・がんばること



場所	やりたいこと	理由
学校で	ニューYEARコンサートで、自分の持ち場を自分で決めたい。	そのために、毎日の練習をする。先生に確認し、大きな声であいさつ、返事、報告をする。
家で	家で手伝いをやると、お母さんやお父さんに褒められる。	そのために、がんばって毎日やる。お母さんやお父さんに褒められる。
現場実習で	一人で電車に乗りたい。	そのために、お母さんやお父さんと練習をする。
将来（働いたら）	ケーキ屋さん	そのために、家でケーキ作りを練習する。お母さんやお父さんに褒められる。
ゆめ	ゆめは、いろいろなことをしたい。	バス、電車の練習をしたい。お母さんやお父さんに褒められる。

夢をかなえる個別の教育支援計画

「私の応援計画」の作成

生徒一人ひとりが自分の夢や願い、長所と課題を理解するために「私の応援計画」を作成しています。教師との対話で気づきが深まり完成した「私の応援計画」を、生徒が現場実習先に持参して目標や合理的配慮を伝えるなど、関係機関との連携にも活用しています。

幼児から中学生まで同年代の子どもとの交流及び共同学習を通じた障害者理解（心のバリアフリー）の推進

附属幼稚園・小学校・中学校との交流活動は年間50回に及びます。特に附属小学校では、本校の児童生徒や障害への理解を深め互いに思いやりをもって接することができるように、全学年で障害理解授業「よつば学習」（よ：よく知る、つ：つながる、ば：バリアフリー）を行っています。毎年、複数回の給食交流や共同の学習を重ね、中学生になると同じチームでポッチャを楽しむなど、年齢に応じた関わりが育つように工夫しています。



HATOカフェ

秋田大学と連携した職業教育

高等部では、秋田大学（徒歩15分）で生徒主体の販売店「わかはとショップ」を定期的にかけています。作業学習で作った陶芸品やさをり織りの手作り品等の販売とハンドドリップコーヒーの喫茶サービスが中心です。生徒によるショップの計画から評価までの一連の活動（使う人に喜ばれる質の高い製品作りや広報活動、清掃等）を通して、主体性や課題解決力・コミュニケーション能力などを育てています。

製品販売・さをり織り体験



（文責： 副校長 田口睦子）